



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月2日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3566 URL <https://uniformnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 貴之 TEL 0776 (43) 1034
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,724	20.1	246	79.0	257	80.7	167	79.1
2022年12月期第2四半期	3,100	19.5	137	△34.0	142	△31.9	93	△31.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	16.72	16.59
2022年12月期第2四半期	9.35	9.29

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,276	2,864	67.0
2022年12月期	3,711	2,722	73.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,864百万円 2022年12月期 2,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,696	21.5	502	24.9	513	25.1	338	22.3	33.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	9,991,848株	2022年12月期	9,991,848株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	448株	2022年12月期	448株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	9,991,400株	2022年12月期2Q	9,979,047株

（注）当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種規制の緩和等により経済社会活動の正常化への動きが進展し回復基調が続きました。一方で、ウクライナ情勢等による資源・エネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレ加速や急激な為替の変動により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

かかる状況の下、当社は、昨年度に引き続き売上増強による市場シェアの拡大を目的とし、WEB広告や新規DMカタログの積極的な広告投資による新規顧客の獲得、既存顧客へのメールマガジン配信等による顧客のサイト流入数の拡大に努めました。また、営業部門においてはエリア担当制への切り替えにより、営業活動の集中と効率化に取り組んでまいりました。

販売状況に関して、サービス部門においては、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い人流が戻りつつある影響により新規出店や採用増に繋がったことで、飲食店からの注文が増加いたしました。これらの結果、飲食店向けカテゴリの売上がコロナ禍前の水準を超え、同部門の売上高は1,482,426千円（前年同四半期比21.5%増）となりました。

オフィスワーク部門においては、4月5月は気温が上昇する日が多かったことで計画的に在庫を確保していた高単価のファン付き作業服や夏物作業服、ポロシャツ等の販売が順調に伸長しました。ただ、6月は前年が下旬にかけて夏が続いたことにより夏物商品の特需となった影響で、前年比で伸び悩みました。これらの結果、同部門の売上高は1,980,777千円（同19.4%増）となりました。

利益については、昨年同時期は低利益率商品の構成比率上昇により商品原価率が悪化していたところ、今年度は見直しを行ったこと、システム化による業務効率化が進んだ結果、人件費が計画より抑えられていることにより、営業利益が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高3,724,897千円（前年同四半期比20.1%増）、営業利益246,611千円（同79.0%増）、経常利益257,271千円（同80.7%増）、四半期純利益167,101千円（同79.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ564,771千円増加し、4,276,073千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ37,766千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が530,237千円減少したものの、受取手形及び売掛金が205,703千円、商品が350,088千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ527,004千円増加いたしました。これは主に、社屋兼物流センターに関連する建設仮勘定の増加546,480千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ422,648千円増加し、1,411,118千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ422,648千円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が284,057千円、電子記録債務が58,266千円、その他が85,395千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ142,122千円増加し、2,864,955千円となりました。これは主に、四半期純利益167,101千円及び剰余金の配当24,978千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,431,608千円となり、前事業年度末に比べ、530,237千円減少いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、83,159千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益257,271千円、減価償却費34,953千円と売上債権の増加205,703千円、棚卸資産の増加349,816千円、仕入債務の増加342,323千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、561,714千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、51,682千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出26,704千円、配当金の支払額24,978千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月3日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,961,846	1,431,608
受取手形及び売掛金	273,623	479,326
商品	410,486	760,574
貯蔵品	1,975	1,703
その他	12,160	24,726
貸倒引当金	△135	△217
流動資産合計	2,659,955	2,697,722
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	672,768	658,566
構築物（純額）	31,137	31,270
機械及び装置（純額）	13,908	18,617
工具、器具及び備品（純額）	6,845	10,072
土地	216,779	216,779
建設仮勘定	475	546,955
有形固定資産合計	941,914	1,482,260
無形固定資産		
ソフトウェア	60,177	46,618
その他	1,011	985
無形固定資産合計	61,189	47,604
投資その他の資産	48,242	48,486
固定資産合計	1,051,346	1,578,351
資産合計	3,711,302	4,276,073
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	271,830	555,887
電子記録債務	265,498	323,764
1年内返済予定の長期借入金	26,704	—
未払法人税等	82,077	100,514
契約負債	11,532	16,608
賞与引当金	40,880	39,000
その他	289,947	375,342
流動負債合計	988,469	1,411,118
負債合計	988,469	1,411,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,007	358,007
資本剰余金	362,276	362,276
利益剰余金	2,002,759	2,144,882
自己株式	△210	△210
株主資本合計	2,722,832	2,864,955
純資産合計	2,722,832	2,864,955
負債純資産合計	3,711,302	4,276,073

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,100,432	3,724,897
売上原価	1,960,843	2,343,874
売上総利益	1,139,589	1,381,023
販売費及び一般管理費	1,001,794	1,134,411
営業利益	137,794	246,611
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	3,000	4,239
ポイント収入額	796	2,650
その他	942	3,781
営業外収益合計	4,740	10,672
営業外費用		
支払利息	168	12
営業外費用合計	168	12
経常利益	142,365	257,271
税引前四半期純利益	142,365	257,271
法人税、住民税及び事業税	49,249	92,749
法人税等調整額	△198	△2,579
法人税等合計	49,051	90,170
四半期純利益	93,314	167,101

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	142,365	257,271
減価償却費	35,187	34,953
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	100	82
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,714	△1,880
契約負債の増減額 (△は減少)	11,092	5,076
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△15,491	—
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	168	12
売上債権の増減額 (△は増加)	△249,822	△205,703
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△126,128	△349,816
仕入債務の増減額 (△は減少)	278,082	342,323
未払金の増減額 (△は減少)	90,322	105,931
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,851	△41,513
その他	21,983	11,427
小計	176,721	158,164
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△168	△12
法人税等の支払額	△65,725	△74,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,827	83,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,762	△561,714
無形固定資産の取得による支出	△2,404	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,166	△561,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52,476	△26,704
配当金の支払額	△24,935	△24,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,411	△51,682
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,249	△530,237
現金及び現金同等物の期首残高	1,692,239	1,961,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,719,488	1,431,608

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。